

アジア・太平洋域における CO2越境輸送・貯留（CCS） に関するワークショップ

CCSはネットゼロ達成と産業セクターの脱炭素化に欠かせない技術として世界中で検討されている一方、貯留適地が偏在していることが一つの課題となっております。アジア・太平洋域には十分な貯留ポテンシャルが見込まれており、欧州同様にアジア大でのCO2越境輸送が将来のビジネスモデルとなる可能性があります。

本ワークショップでは、専門家の講演やステークホルダー間の議論を通じて、アジア・太平洋域におけるCO2越境輸送を含むCCSの社会実装への貢献を目指します。

日時 2024年 2月 8日(木) 午前の部 | 10:00～12:50
午後の部 | 14:00～16:35 (JST)

TOPICS

午前の部 | CCS事業推進および 越境輸送に関する
法制度の枠組みと課題

- CO2越境輸送に関する国際条約・スタンダード、域内/国内法整備、社会受容性等の現状
- CO2越境輸送推進のためのフレームワーク
- 地域的課題、国際協力で得られるlessons learnt

午後の部 | CO2越境輸送CCSプロジェクト
における現状と課題

- 排出(回収)・輸送・貯留事業者から見た越境輸送プロジェクトの現状と課題
- プロジェクトの展望
- ビジネスモデル上の課題

REGISTRATION LINK

<https://www.mri.co.jp/seminar/20240208.html>

HOSTS



SECRETARIAT

MRI 三菱総合研究所

登壇者

午前の部

山本 晃司
JOGMEC

佐伯 徳彦
METI

Ian Havercroft
Global CCS
Institute

Beni Suryadi
ASEAN Centre for
Energy

Guy Dwyer
Ashurst

紺野 博靖
西村あさひ法律事務所

Ingvild
Ombudstvedt
IOM法律事務所

午後の部

Nor A'in Md
Salleh
PETRONAS

高尾 晶彦
三菱商事

(TBC)
Northern Lights JV

沼野 正載
商船三井

堀見 泰資
日本製鉄

三好 啓介
JOGMEC

司会

高梨 真澄
JOGMEC